

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日
上場取引所 東

上場会社名 日本特殊塗料株式会社
コード番号 4619 URL <http://www.nttoryo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 万喜夫
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務業務本部長 (氏名) 田谷 純 (TEL) 03-3913-6134
四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第1四半期 | 9,750 | 2.6 | 310 | 37.5 | 1,023 | 47.8 | 887 | 57.9 |
| 27年3月期第1四半期 | 9,500 | 9.7 | 225 | — | 692 | 26.6 | 561 | 14.8 |

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 669百万円(10.1%) 27年3月期第1四半期 608百万円(△58.9%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 40.13 | — |
| 27年3月期第1四半期 | 25.41 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第1四半期 | 53,361 | 31,860 | 57.2 |
| 27年3月期 | 53,428 | 31,385 | 56.2 |

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 30,503百万円 27年3月期 30,021百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 4.00 | — | 8.00 | 12.00 |
| 28年3月期 | — | — | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | 6.00 | — | 10.00 | 16.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|-------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 20,400 | 7.0 | 650 | △0.7 | 2,100 | 27.8 | 1,700 | 22.1 | 76.89 |
| 通期 | 41,600 | 5.1 | 1,400 | △14.1 | 3,900 | △3.4 | 2,900 | △4.3 | 131.16 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一 、 除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 28年3月期1Q | 23,611,200株 | 27年3月期 | 23,611,200株 |
| 28年3月期1Q | 1,500,300株 | 27年3月期 | 1,500,300株 |
| 28年3月期1Q | 22,110,899株 | 27年3月期1Q | 22,111,245株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

「参考」個別業績予想

平成28年3月期の個別業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 33,700 | 1.1 | 2,400 | △9.7 | 1,800 | △10.9 | 81.11 |

（注）個別業績予想数値の当四半期における修正の有無：有

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国経済の回復や円安進行を背景とした企業収益の拡大、個人消費の持ち直しなどにより、穏やかな回復基調で推移しました。一方、欧州の債務問題や中国経済の減速、円安による輸入価格の高騰など、企業を取り巻く経営環境は依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、市場・顧客ニーズに適応した製品開発と新規顧客の開拓など販売活動を強化するとともに、生産能力の増強、原価改善、生産性の向上など収益改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、国内外ともに需要が堅調に推移したことで97億5千万円（前年同期比2.6%増）となりました。

損益面につきましては、売上増収に加えて原価改善等により営業利益は3億1千万円（前年同期比37.5%増）、経常利益は円安及び持分法による投資利益の増加で10億2千3百万円（前年同期比47.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億8千7百万円（前年同期比57.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 塗料関連事業

当セグメントの業績につきましては、企業収益の拡大を背景とした国内民間需要の増加等により、売上高及びセグメント利益は前年同期を大きく上回りました。

品種別売上高につきましては、建築・構築物用塗料のうち、床用塗料は民間の塗り替え需要増により前年同期比10.3%増加しました。一方、防水用塗料は前年同期間は消費増税駆け込み需要が続いた影響もあり前年同期比7.0%減少しました。航空機用塗料は塗り替え需要増により前年同期比9.7%増加しました。また、工事関連売上高の集合住宅大規模改修工事は、工事物件増加により前年同期比5.6%増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は37億2千万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益は1億3千5百万円（前年同期比123.1%増）となりました。

② 自動車製品関連事業

当セグメントの業績につきましては、乗用車生産台数が堅調に推移したことで国内外での受注増加により売上高及びセグメント利益は前年同期を上回りました。

品種別売上高につきましては、制振材は新規受注増加もあり前年同期比14.9%増加しました。防錆塗料は国内受注台数減により前年同期比8.3%減少しました。吸・遮音材は2.9%増加しました。また、原材料輸出等のその他売上は、前年同期比10.7%増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は60億2千5百万円（前年同期比3.6%増）、セグメント利益は1億7千2百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

③ その他

保険代理業の売上高は3百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ6千7百万円減少し、533億6千1百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少4億4千1百万円、受取手形及び売掛金の増加1億2百万円、建設仮勘定の増加2億1千1百万円、投資その他の資産のその他の増加1億4千5百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億4千1百万円減少し、215億1百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少2億6千1百万円、借入金の増加4億7千6百万円、流動負債その他の減少5億3千6百万円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億7千4百万円増加し、318億6千万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加7億9百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億円、為替換算調整勘定の減少2千8百万円によるものです。自己資本比率は1.0%増加し57.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、売上高は、主に自動車製品関連事業の受注が堅調に推移していることから、前回予想を上回る見込みとなりました。

利益面につきましては、増収に伴う利益の増加に加え、原価改善効果や海外関係会社の業績拡大に伴う持分法による投資利益の増加及び為替換算等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに平成27年5月8日に公表しました業績予想を上回る見込みとなりました。

また、平成28年3月期通期の連結及び個別の業績予想につきましても、第2四半期累計期間の業績予想を踏まえ、売上高、利益ともに前回予想を上回る見込みであることから、通期連結業績予想を以下のとおり修正しております(詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください)。

<通期連結業績予想>

| | | |
|-----------------|-----------|--------------|
| 売上高 | 41,600百万円 | (前期比 5.1%増) |
| 営業利益 | 1,400百万円 | (前期比 14.1%減) |
| 経常利益 | 3,900百万円 | (前期比 3.4%減) |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,900百万円 | (前期比 4.3%減) |

なお、この業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,733,429 | 4,291,855 |
| 受取手形及び売掛金 | 12,573,956 | 12,676,888 |
| 商品及び製品 | 1,330,939 | 1,400,765 |
| 仕掛品 | 381,801 | 393,574 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,018,349 | 1,036,100 |
| 繰延税金資産 | 355,681 | 354,949 |
| その他 | 593,295 | 381,054 |
| 貸倒引当金 | △6,904 | △7,016 |
| 流動資産合計 | 20,980,548 | 20,528,172 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,961,523 | 3,923,263 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 3,452,108 | 3,368,798 |
| 土地 | 3,373,793 | 3,373,793 |
| 建設仮勘定 | 889,020 | 1,100,465 |
| その他(純額) | 1,356,860 | 1,346,428 |
| 有形固定資産合計 | 13,033,307 | 13,112,749 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 299,595 | 297,073 |
| 無形固定資産合計 | 299,595 | 297,073 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 17,177,599 | 17,270,456 |
| 長期貸付金 | 269,619 | 339,490 |
| 繰延税金資産 | 40,072 | 39,992 |
| その他 | 1,641,621 | 1,787,379 |
| 貸倒引当金 | △13,967 | △14,017 |
| 投資その他の資産合計 | 19,114,944 | 19,423,301 |
| 固定資産合計 | 32,447,847 | 32,833,124 |
| 資産合計 | 53,428,396 | 53,361,296 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,121,735 | 8,860,006 |
| 短期借入金 | 1,876,668 | 2,624,025 |
| リース債務 | 46,370 | 46,382 |
| 未払法人税等 | 256,458 | 203,237 |
| 役員賞与引当金 | 55,300 | - |
| その他 | 3,892,712 | 3,355,764 |
| 流動負債合計 | 15,249,245 | 15,089,415 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,728,588 | 1,457,758 |
| リース債務 | 123,082 | 111,483 |
| 退職給付に係る負債 | 3,997,966 | 3,987,232 |
| 繰延税金負債 | 910,512 | 823,392 |
| その他 | 33,235 | 31,877 |
| 固定負債合計 | 6,793,385 | 6,411,744 |
| 負債合計 | 22,042,631 | 21,501,160 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,753,085 | 4,753,085 |
| 資本剰余金 | 4,362,942 | 4,362,942 |
| 利益剰余金 | 15,292,556 | 16,002,358 |
| 自己株式 | △496,536 | △496,536 |
| 株主資本合計 | 23,912,047 | 24,621,849 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,874,913 | 4,674,147 |
| 為替換算調整勘定 | 1,246,390 | 1,217,691 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △11,956 | △10,383 |
| その他の包括利益累計額合計 | 6,109,347 | 5,881,455 |
| 非支配株主持分 | 1,364,370 | 1,356,832 |
| 純資産合計 | 31,385,764 | 31,860,136 |
| 負債純資産合計 | 53,428,396 | 53,361,296 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 9,500,967 | 9,750,208 |
| 売上原価 | 7,648,823 | 7,706,989 |
| 売上総利益 | 1,852,143 | 2,043,219 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,626,627 | 1,733,071 |
| 営業利益 | 225,516 | 310,148 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 52,864 | 60,981 |
| 持分法による投資利益 | 432,188 | 632,850 |
| その他 | 17,324 | 38,268 |
| 営業外収益合計 | 502,377 | 732,100 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 17,897 | 17,565 |
| 為替差損 | 16,473 | - |
| その他 | 912 | 753 |
| 営業外費用合計 | 35,283 | 18,319 |
| 経常利益 | 692,610 | 1,023,929 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 250 | 15,352 |
| 受取保険金 | 5,525 | 1,157 |
| 特別利益合計 | 5,775 | 16,510 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 7,696 | 4,178 |
| 特別損失合計 | 7,696 | 4,178 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 690,689 | 1,036,261 |
| 法人税等 | 85,921 | 133,777 |
| 四半期純利益 | 604,767 | 902,484 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 42,839 | 15,135 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 561,927 | 887,348 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 604,767 | 902,484 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 251,091 | △201,183 |
| 為替換算調整勘定 | △60,304 | △9,936 |
| 退職給付に係る調整額 | 2,495 | 1,523 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △189,355 | △23,017 |
| その他の包括利益合計 | 3,926 | △232,613 |
| 四半期包括利益 | 608,694 | 669,870 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 594,526 | 659,457 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 14,168 | 10,413 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 塗料関連 | 自動車 製品関連 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,678,426 | 5,817,989 | 9,496,416 | 4,551 | 9,500,967 | — | 9,500,967 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 900 | — | 900 | — | 900 | △900 | — |
| 計 | 3,679,326 | 5,817,989 | 9,497,316 | 4,551 | 9,501,867 | △900 | 9,500,967 |
| セグメント利益 | 60,738 | 162,133 | 222,872 | 2,644 | 225,516 | — | 225,516 |

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 塗料関連 | 自動車 製品関連 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,720,895 | 6,025,573 | 9,746,469 | 3,739 | 9,750,208 | — | 9,750,208 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 900 | — | 900 | — | 900 | △900 | — |
| 計 | 3,721,795 | 6,025,573 | 9,747,369 | 3,739 | 9,751,108 | △900 | 9,750,208 |
| セグメント利益 | 135,509 | 172,821 | 308,330 | 1,817 | 310,148 | — | 310,148 |

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。